

平成27年度

主要施策の成果報告書

白井市

## 平成27年度主要施策の成果報告

担当課	予算科目	予算事業名	当初予算額	予算現額	決算額	(財源内訳)				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
子育て支援課	3款2項1目	【実】子ども医療費助成事業	223,678	223,734	209,591	78,117	0	3,014	128,460	子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、小学校6年生までは入院・通院・調剤の医療費を、中学生は入院の医療費を助成しました。	子どもにかかる医療費を助成したことにより、子どもの保健対策の充実と保護者の経済的負担の軽減を図ることができました。 【実績】 ・受給券交付者数：9,466人 ・助成件数：112,561件
保育課	3款2項1目	【実】学童保育所事業 (池の上学童保育所建替)	48,536	44,994	44,809	16,284	22,800	0	5,725	共働き家庭等の児童が、放課後に安心して安全な生活を送り、その健全な育成を図るため、老朽化及び利用児童数が増加している池の上学童保育所の建て替えを行いました。また、建て替えについては、平成27年度施行の「白井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」の基準に適合した施設となるよう実施しました。	施設を建替えたことにより、定員を36人から60人へ拡大することができ、また、条例基準に適合した児童1人あたりの面積を確保できたことにより、保育環境を改善することができました。
学校教育課	9款5項3目	【実】学校給食共同調理場建替事業 (9月補正予算)	0	494,456	494,445	0	470,600	0	23,845	現在の学校給食共同調理場の老朽化などに伴い、新たな共同調理場を整備するため、移転先用地を確保しました。また、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律(PFI法)に基づき、施設整備と15年4ヶ月の維持管理・運営業務を一括発注するため、事業費の積算や新たな共同調理場の整備、運営方針などを作成しました。さらに、施設整備等を行う事業者を、価格や技術提案内容などを基に総合的に評価する総合評価一般競争入札で決定することから、技術的提案内容等を審査するため、学識経験者やPTAの代表者などで構成する「学校給食共同調理場建替等事業者選定委員会」を設置し、第1回会議を開催しました。	工場である学校給食共同調理場の施設整備に適した用途地域で、かつ給食調理に必要なインフラが整った用地を適正価格で取得できました。また、PFI法に基づく各種事務手続きを行うことにより、予定している平成31年4月1日の供用開始に向けて、スケジュールどおり準備を進めることができました。さらに学校給食共同調理場建替等事業者選定委員会からは、事業に対し、多くの意見を頂き、よりよい事業展開に資することができました。
教育総務課	9款2項3目	【実】小学校施設改修等事業 (繰越明許費)	0	1,192,861	1,072,953	130,974	902,200	39,779	0	児童が安心して学校生活を送れるようにするため、耐震補強及び老朽化に伴う工事を行いました。(南山小学校)	南山小学校校舎改修工事を実施したことにより、児童が活動しやすい安全な教育環境の整備ができました。
教育総務課	9款3項3目	【実】中学校施設改修等事業 (繰越明許費)	0	1,157,750	1,074,087	156,033	869,700	48,354	0	生徒が安心して学校生活を送れるようにするため、耐震補強及び老朽化に伴う工事を行いました。(南山中学校)	南山中学校校舎改修工事を実施したことにより、生徒が活動しやすい安全な教育環境の整備ができました。
管財契約課	2款1項5目	【実】市役所庁舎整備事業	173,506	182,189	174,504	22,442	110,200	0	41,862	現庁舎の耐震性の不足及び老朽化等に対応するため、平成26年度に策定した庁舎整備基本設計に沿って実施設計を行いました。実施設計では、工事発注に必要な詳細図面の作成や工事費の積算を行い、各種法令等に基づく、工事着手の際に必要な各種関係機関への申請業務等を進め、平成28年度の工事着手への準備を行いました。	いつ発生するかわからない災害等に対し、早急な庁舎の整備が求められている中で、実施設計を平成27年度に完了させることができ、当初の計画どおり、平成28年4月からの工事着手、平成30年3月の工事完了の予定で事業推進を図ることができました。

担当課	予算科目	予算事業名	当初予算額	予算現額	決算額	(財源内訳)				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
市民安全課 教育総務課	8款1項4目 9款2項3目	【実】地域防災計画推進事業 【実】小学校施設改修等事業	74,915	74,915	61,266	20,360	30,000	0	10,906	市民の防災意識の向上と地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の設立促進を図るとともに、防災訓練や講習会等を開催し、防災対策を推進しました。 避難行動要支援者の避難対策を進めるため、対象者の絞り込みと個別支援計画の作成を進めました。 避難場所となる小学校の防災対策を強化するため、非常用井戸を計画的に設置しました。(白井第一小学校、白井第二小学校、南山小学校)	清水口小学校で防災訓練を行い、495人(うち自治会・市民298人)が参加することで、防災力の向上を図りました。 また、自主防災組織が新たに2団体設立されました。 避難行動要支援者の対象者の絞り込みを行い、6,340人の対象者に同意申請書を送付して、避難対策を進めることができました。 白井第一小学校、白井第二小学校及び南山小学校に非常用井戸を設置したことにより、避難所となる小学校の防災対策を強化できました。
社会福祉課	3款1項2目	【実】障害福祉サービス事業 (障害者計画の策定)	3,670	4,016	3,946	0	0	0	3,946	障害者の自立及び社会参加の支援等、障害福祉の基盤整備の計画的推進を図るため、平成28年度から始まる「白井市障害者計画」を策定しました。 (平成26年度からの継続費通次繰越額:345,600円)	白井市障害者計画を策定し、地域での自立生活支援の推進、社会参加の支援・促進、快適で人にやさしいまちづくりの推進のための施策の方向を明らかにするとともに、推進体制や進行管理方法を示すことができました。
高齢者福祉課	3款1項8目	【実】介護老人施設整備補助事業	63,000	63,000	0	0	0	0	0	急速な高齢化に備え、特別養護老人ホームを整備するにあたり、地域住民との交流や地域の介護を支えるための地域包括ケア対策の拠点併せ持った施設を整備するため、必要に応じて整備等に係る補助金の交付を決定しました。 ・特別養護老人ホーム施設整備補助 1施設 (施設整備事業期間 平成26年度～平成28年度)	介護人材不足により、施設開設時期が平成28年3月から平成28年5月へ変更となったため、全額平成28年度へ繰越明許しました。
保健福祉相談室	3款1項1目	【実】生活困窮者自立支援事業	14,337	14,337	12,775	9,952	0	0	2,823	最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方のための相談窓口を設置し、関係機関や団体等と連携して早期から支援を行うことにより、その生活の自立を図りました。	生活や就労に関する課題を抱えている市民等164人からの相談があり、課題の内容や状況に応じて、庁内関係課や庁外関係機関等と連携して、適切な支援に繋ぐことができました。 新規相談者のうち、就労支援対象者数は30人で、そのうち20人が就労につながりました。
健康課	4款1項3目	【実】健康づくり普及推進事業 (しろい健康プランの策定)	4,828	5,312	5,291	0	0	0	5,291	現行の「しろい健康プラン」(平成22年度～平成27年度)が終了することから、引き続き心と体、食育や口腔など市民の健康づくりを推進するため、平成26年度と平成27年度の2カ年で新たな「しろい健康プラン」を策定しました。 (平成26年度からの継続費通次繰越額:457,440円)	市の健康課題に対する取り組みを強化していくために、健康づくりの総合的な計画として「健康増進計画」「食育推進計画」「歯科口腔保健推進計画」を一体的に策定し、市民を主人公に地域、行政が互いに協力して健康づくりに取り組む計画ができました。 第2次しろい健康プランの計画書を150部、概要版を200部作成して市民や関係者に配布し、計画を周知するために講習会を開催しました。
健康課	4款1項2目	【実】感染症予防事業	125,822	125,822	100,093	0	0	0	100,093	感染症予防を推進するため、乳幼児・児童への予防接種を実施しました。	感染症予防を推進するため、乳幼児・児童への予防接種を実施しました。接種率は概ね目標を達成し、感染症予防が図られました。
市民活動支援課	2款1項10目	【実】コミュニティ施設整備・管理事業 (西白井地区コミュニティ施設の建設に向けた検討)	689	689	387	0	0	0	387	西白井地区コミュニティ施設の建設に向けて、市民参加による西白井地区コミュニティ施設建設準備委員会会議を4回開催し、施設内容及び管理運営等を検討しました。	西白井地区コミュニティ施設建設準備委員会から、具体的な施設内容、管理運営方法等についてとりまとめた提案書の提出を受けました。これをもとに、今後の施設整備のあり方の検討を進めています。

担当課	予算科目	予算事業名	当初予算額	予算現額	決算額	(財源内訳)				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
農政課	5款1項3目	【実】農業生産技術・経営改善支援事業	28,448	21,261	20,862	5,811	0	0	15,051	農業経営基盤の強化を促進するため、農業経営の安定・強化及び生産技術の向上の活動や規模拡大などを旨とする農業者を支援しました。 また、特産の梨生産について、自然災害による被害を防止することにより安定生産を図るため、多目的防災網の張替に対する助成を引き続き行いました。	認定農業者を対象に生産力強化支援、省力機械整備費支援に対し、費用の一部を補助し、農業経営の安定強化が図られました。 梨農家21人、約1,619アールの圃場で実施された多目的防災網張替事業の費用の一部を補助し、本市特産の梨の安定的な生産に寄与しました。
農政課	5款1項3目	【実】農産物ブランド化推進事業	2,198	2,825	2,107	0	0	0	2,107	「しろいの梨」のブランド化を図るため、梨業組合などの生産者組織やJA西印旛、農業事務所との連携を強化し、新たな生産販売振興策を推進するため、千葉銀行が主催するモンゴル国での商談会に共同で参加し、「しろいの梨」の試食会を行うとともに、販売促進用資材の作成、PR活動を実施しました。 また、生産者団体における海外輸出事業に対する支援や、自然薯を中心に新たな農産物についてもブランド化を進めました。	モンゴル国での商談会に参加したことにより、モンゴル国内スーパーでのテスト販売につなげられ、その様子がマスコミに取り上げられたことで、国内外で「しろいの梨」をPRすることができました。
道路課	7款2項2目	【実】工業団地アクセス道路整備事業	11,697	11,697	5,156	962	2,600	0	1,594	工業団地における企業誘致や既存企業の活性化を図るため、工業団地へのアクセス道路の整備に向け、用地買収を実施しました。	用地買収の実施(514.09㎡)により、道路整備の進捗が図られました。
環境課	4款1項5目	【実】谷田・清戸地区里山保全推進事業	396	368	264	0	0	0	264	良好な自然環境を持続的に保全し、里山・森林の新たな活用を図るため、(仮称)谷田・清戸市民の森整備計画に基づき、整備方法を検討し、対象地の確保に向けた取り組みを進めました。	せんがみ谷津の799㎡を千葉県から取得しました。 また、千葉県、企業庁及びURから、せんがみ谷津、沢山の泉及び遠谷津の141,173㎡の無償譲渡を受け、事業が進捗しました。
環境課	4款1項5目	【実】省資源・省エネルギー推進事業 (住宅用太陽光発電システム設置費補助及び高効率給湯器設置費補助)	11,250	11,250	11,245	6,737	0	0	4,508	再生可能エネルギー等の利用促進を図るため、太陽光発電システム及び高効率給湯器を設置した市民に、設置費の一部を補助しました。	補助金の交付件数が太陽光発電システム、高効率給湯器ともに目標数を上回る結果となり、省エネルギー設備の導入・利用が促進されました。 【実績】 ・太陽光発電システム交付件数 91件(目標数 81件) ・高効率給湯器交付件数 82件(目標数 70件)
都市計画課	7款4項2目	【実】都市公園等整備事業	7	7	5	0	0	0	5	1人当たりの公園緑地面積が不足している既存市街化区域における公園緑地を整備するため、調査研究や都市計画決定準備等を進めました。	(仮称)富士公園の整備に伴い、自治連合会第三支部が(仮称)富士公園整備検討委員会を設置し、地域住民の意見を反映した整備構想の検討が行われ、市は資料提供等により会議の支援を行いました。
道路課	7款2項2目	【実】市道新設改良事業	92,664	794,368	339,917	38,272	80,300	171,358	49,987	安全で円滑な道路交通を確保するため、幹線市道00-139号線他、幹線市道整備及び一般市道の拡幅等の改良を実施しました。	整備を実施した区間について、安全で円滑な交通が確保されました。
道路課	7款2項3目	【実】橋梁維持事業	86,127	89,067	51,276	25,685	16,900	0	8,691	橋梁の安全性を確保すると共に、修繕や架け替えに係る費用の縮減と平準化を図るため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき定期点検及び修繕工事を実施しました。	定期点検及び修繕工事を実施したことにより、安全性の確保及び橋梁の長寿命化を図ることができました。 【実績】 ・定期点検(近接目視点検):11橋 ・修繕工事(舗装打ち換え・伸縮装置の交換):2橋

担当課	予算科目	予算事業名	当初予算額	予算現額	決算額	(財源内訳)				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
上下水道課	水道会計 資本的支出 1款1項1目	配水施設整備事業	107,930	99,989	69,007	10,166	28,000	0	30,841	安全な水の安定供給と水道の普及を促進するため、配水場の実施設計と配水管布設整備等を行いました。 復地区 Φ75mm L=13.6m	給水要望のあった地域に配水管を布設し、安全・安心な水道水を安定供給することができました。
上下水道課	下水道会計 1款2項1目	【実】雨水排水施設整備事業	130,860	168,048	38,452	12,510	23,600	0	2,342	平成26年度からの白井地区での繰越工事が完了しました。 □900×900 L=81.0m、□1000×1000 L=32.2m 平成27年度事業として、下水道法に基づく事業計画の変更と白井地区の工事に係る家屋調査を実施しました。 また、白井及び富士地区の工事については、地下埋設物の移設交渉、希少生物保護に係る環境団体との調整に時間を要したことから、平成28年度へ繰越明許しました。(繰越額121,910千円)	雨水排水施設の整備により、対象区域の都市環境の向上が図れました。
企画政策課	2款1項6目	【実】鉄道交通推進事業	29,868	29,868	29,645	0	0	0	29,645	便利で安全な公共交通を促進するため、北総線の高運賃対策への取り組みやJR成田線の利便性向上について関係機関に要請を行いました。 また、鉄道会社が実施する耐震化事業(平成27年度～平成29年度)及び内方線警告ブロック敷設工事(平成27年度)への補助を行いました。	内方線警告ブロック敷設工事への補助を行い、駅におけるバリアフリー化を進めるとともに、北総線の高架橋等の耐震化工事への補助を行い、北総線の利用者及び鉄道施設付近の居住者等の安全を確保しました。
秘書広報課	2款1項2目	広報広聴総務事務に要する経費	544	544	370	0	0	0	370	市のPRのために、なし坊20周年まつり、白井特別競走、しろいふるさと大使による事業を行いました。	市のマスコットキャラクター「なし坊」の20周年を記念し、市のPRを兼ねた、しろいふるさと大使による「なし坊20周年まつり」に、市内外から約1,000人以上の親子連れの来場があり、市のPRにつながりました。 「白井特別競走」では中山競馬場で白井の特産品の展示や販売を行い、県内外から来場した多くの方に市を周知することができました。 しろいふるさと大使は、テレビ、ラジオ、コンサートなどで市をPRし、白井市の知名度アップに貢献しました。
企画政策課	2款1項6目	【実】白井市PR事業	2,917	5,202	4,761	0	0	152	4,609	市のマスコットキャラクター「なし坊ファミリー」を活用して、白井市や特産品の梨のPRを実施しました。 また、ふるさと納税制度を運用することにより、自主財源の確保と合わせて、梨などの特産品を返礼品とすることで地場産業の活性化、シティプロモーションの推進を図りました。	市のマスコットキャラクター「なし坊ファミリー」を活用してPR活動を行うとともに、イベント等に積極的に参加することにより、より多くの方に市のことを知ってもらうことができました。 また、ふるさと納税に対する返礼品の発送により、梨などの地場産品や市の認知度の向上に寄与しました。 【実績】 ・寄附総額:13,695,704円 ・返礼件数:686件
高齢者福祉課	介護会計 4款2項1目	認知症施策の推進に要する経費	1,613	1,613	781	456	0	325	0	認知症に関する正しい理解と対応を普及するため、広報・ホームページ・リーフレットの配布による啓発、講演会の開催、各種教室・講座の充実等により、認知症に関する様々な情報を提供しました。 また、認知症の方及び家族等を支援するため、認知症カフェの開催、相談事業の充実等を図りました。	情報の提供による啓発に加え、9月を認知症周知啓発月間と定めて、講演会・家族交流会・認知症サポーター養成講座の開催などを行ったほか、12月にメモリーウォークを実施しました。認知症サポーター養成講座は年間で23回実施し、1,093人のサポーターを輩出することができ、認知症に関する正しい理解と対応を普及させることができました。 その他、認知症対策連絡会を組織し、認知症カフェの開催、認知症相談拠点整備、資源マップ作成などを行うことで、認知症の方及び家族の支援を進めることができました。

担当課	予算科目	予算事業名	当初予算額	予算現額	決算額	(財源内訳)				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
環境課	4款1項6目	放射能対策事業に要する経費	11,769	10,999	2,167	1,166	0	0	1,001	市民の安全・安心を確保するため、公共施設の空間放射線量率測定、公共施設の除染、車庫保管土壌の管理・測定を行いました。 その他、測定器の市民への貸し出し、放射能汚染対策協議会の開催を行いました。	市内の公共施設で行った測定においては、全施設で平均0.23 $\mu$ Sv/未満でした。 除染や測定を適切に行うことで、市民の安心・安全を確保することができました。
総務課	2款1項1目		300	300	0	0	0	0	0	東京電力への賠償費用の請求に係る相談等を必要に応じて弁護士へ委託します。	相談の必要性がなかったため、未執行としました。
保育課	3款2項4目		208	208	143	0	0	0	143	公立保育園の児童給食食材及び食育で育てた野菜などの放射性物質検査を週1回実施しました。	公立保育園の児童給食食材及び食育で育てた野菜などの放射性物質検査を週1回行い、給食食材の安全を担保しました。
健康課	4款1項2目		45	45	0	0	0	0	0	市民の放射線被ばくによる健康被害の不安を軽減するためホールボディカウンタ検査費用の助成を行います。	ホールボディカウンタ検査については実施者がいなかったため、執行しませんでした。
農政課	5款1項3目		2,003	2,078	1,586	0	0	3	1,583	農作物の風評被害を防ぐため、161検体の放射性物質検査を実施しました。	161検体の検査を実施し、風評被害の防止と市民(消費者)の不安解消が図られました。
商工振興課	6款1項2目		1,393	1,395	956	0	0	5	951	放射能に関する市民の不安を解消するため、消費者庁の機器貸与事業を活用し、市民等が自宅で消費する食品の放射性物質検査を実施しました。	16検体の検査を実施し、風評被害の防止と市民(消費者)の不安解消が図られました。
学校教育課	9款1項3目		690	690	548	0	0	0	548	児童・生徒の安全・安心を確保するため、給食食材・プール水等の放射性物質検査等を実施しました。	給食食材・プール水等の放射性物質検査等を行い、児童・生徒の安全・安心を確保することができました。
生涯学習課	9款5項2目		49	49	26	0	0	0	26	市民の安心、安全を図るため、市民プールのプール水について放射能検査を実施しました。	検査の実施により、プール水の安全を確認しました。
上下水道課	下水道会計 1款1項2目		18	18	13	0	0	13	0	七次中継ポンプ場で発生した汚泥について放射性物質検査を実施しました。	調査の結果、放射性物質汚染対処措置法に基づく基準値未満であったことから、適正に処分しました。



□まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた事業

担当課	予算科目	予算事業名	当初予算額	予算現額	決算額	(財源内訳)				事業の概要	成果
						国県支出金	地方債	その他	一般財源		
企画政策課	2款1項6目	企画事務に要する経費 《繰越明許費》 【実】白井市PR事業 《12月補正予算》	0	16,896	14,768	14,768	0	0	0	<p>市の産業(農業・商業・工業)について、事業者や市民に対するアンケート調査等を実施し、白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。</p> <p>今後のプロモーション活動の方向性を定めるシティプロモーション基本方針を策定にむけて、市の住環境、子育て環境、産業等を含めて白井ブランド確立に向けた調査を行いました。</p> <p>また、新たに3月14日を「しろいの日」に制定し、市名になぞらえて「白い」をモチーフにしたホワイトフェスティバルを開催し、市外への魅力発信や交流人口の拡大、市民のまちへの愛着やふるさと意識の醸成を図りました。</p> <p>※「企画事務に要する経費」は国の補助金を活用するため、平成26年度補正予算に計上し、平成27年度に繰り越して実施しました。</p>	<p>平成27年10月末に白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。策定完了を早期に行えたことで、国の新たな交付金を受けて、総合戦略に掲げた事業に着手することができました。</p> <p>白井市シティプロモーション基本方針の策定に向けてアンケート調査を実施し、市の魅力の洗い出し等を実施できました。</p> <p>また、「しろいホワイトフェスティバル2015」には8,500人が来場し、市の認知度の向上、市民の市への愛着心の醸成に寄与しました。</p>
子育て支援課	3款2項1目	【実】子ども発達センター事業 《繰越明許費》	0	2,200	2,172	2,000	0	0	172	<p>発達に障害のある児童や支援を要する児童の個々の発達段階等に配慮した療育により、児童の心身の発達や社会に適應する力を育むため、専門的な心理検査用品や備品を整備しました。</p> <p>※国の補助金を活用するため、平成26年度補正予算に計上し、平成27年度に繰り越して実施しました。</p>	<p>心理検査用品を整備し、発達検査を充実させるとともに、療育の質の向上に寄与しました。</p> <p>楽器や遊具、玩具等を整備し、児童の療育や遊びの幅を広げるとともに、運動機能の個別療育にも活用しました。</p>
保育課	3款2項1目 3款2項2目 3款2項4目	【実】学童保育所事業 【実】私立保育園補助等事業 保育園事務及び運営に要する経費 《全て繰越明許費》	0	7,195	7,017	7,017	0	0	0	<p>私立保育園については、国際理解、情操教育、身体機能の発達など特色ある保育サービスや家庭的な保育の実施により保育環境の向上を図るため、図書等の備品の整備拡充や、園庭遊具の整備を行いました。</p> <p>学童保育所については、家庭的な保育環境や利用児童の個性を尊重した環境整備を目的とし、ラティスの整備やじゅうたんの設置を行いました。</p> <p>※国の補助金を活用するため、平成26年度補正予算に計上し、平成27年度に繰り越して実施しました。</p>	<p>各保育園等による特色ある整備が行われ、アンケート調査を行った結果、私立保育園、学童保育所いずれも利用者の満足度が向上しました。</p>
高齢者福祉課	3款1項3目	高齢者福祉総務事務に要する経費 《12月補正予算》	0	611	551	551	0	0	0	<p>高齢期になっても生きがい・やりがいのある生活を継続できる環境を整えるため、中高年齢者の社会参加の促進を図り、中高年齢者を対象とした就労・ボランティアのマッチングイベントを開催することで、中高年齢者を積極的に雇用する企業の拡大、新たなボランティアの場の発掘・創出を行いました。</p>	<p>12月6日に「就活・プチボラ マッチングイベント」と題して、60歳以上の就労・ボランティア活動希望者と企業・団体との就労等マッチング事業を開催しました。</p> <p>就労者を募集する企業が21か所、ボランティアを募集する団体等が9か所マッチングのブースを出し、85人の市民等が参加しました。就労13件、ボランティア13件をマッチングすることができました。</p>

担当課	予算科目	予算事業名	当初予算額	予算現額	決算額	(財源内訳)				事業の概要	成果
						国県 支出金	地方債	その他	一般財源		
健康課	4款1項3目	【実】母子保健推進事業 《12月補正予算》	0	2,389	2,339	2,339	0	0	0	子育てをスタートする親子が孤立せず、必要な支援を得ながら、安心して楽しく子育てできる環境を整えるため、次の4事業を実施しました。 ①母子手帳交付時等の保健指導の充実(妊娠届出時及び転入手続き時に、パートナーの育児参加を促す冊子を使用した夫婦間のコミュニケーションに関する保健指導と出生届出時のパートナーのサポートの必要性に関する保健指導の実施) ②マタニティ&ベビー講座の充実(プレババママスクールの内容を改良しての実施、マタニティカフェ等の継続実施) ③子育て支援サービスに関する情報配信(予防接種ナビ及び市の子育て支援サービスに関する情報配信) ④関係機関との連携推進(子育て支援担当者間の情報交換、ケース対応会議の実施)	予防接種ナビを導入することにより、情報配信サービス事業の実施体制を整えることができました。 妊婦や産婦だけでなく、サポートする父親への支援、他部署との連携やハイリスケースへの支援の充実も含め、妊娠中からの子育て支援に一体的に取り組むことができました。
農政課	5款1項3目	【実】農業生産技術・経営改善支援事業 《繰越明許費》 【実】農産物ブランド化推進事業 《12月補正予算》	0	35,700	35,364	35,364	0	0	0	農業を中心に産業を活性化するために、新たな地元農産物の販売及び地産地消を促進するため、地元産であることをアピールするための「なし坊」を表示した農産物販売用防曇袋の作成と農産物販売者の購入に対し、助成を行いました。 また、白井市梨業組合が開設する「しろいの梨育苗センター」の開設・運営に対し補助を行いました。  ※【実】農業生産技術・経営改善支援事業は国の補助金を活用するため、平成26年度補正予算に計上し、平成27年度に繰り越して実施しました。	JA西印旛が作成した「なし坊」を表示した地元農産物販売用防曇袋と農産物移動販売車の購入の費用の一部を補助したことで、地産地消が推進され、地元農産物の販売拡大につながりました。 また、白井市梨業組合において、梨の苗木を共同育成するために実施した「しろいの梨育苗センター」の開設・運営に対し費用の一部を補助することで、梨の老木化に伴う改植に対し、早期成園化による収入の確保、後継者の確保につなげ、梨産地としての活性化が図られました。
商工振興課	6款1項2目	【実】商工会活動支援事業 《繰越明許費》	0	86,693	81,264	81,264	0	0	0	白井市内における地域の消費を喚起し、地域経済の好循環を生み出すため、プレミアム商品券の発行・活用等に係る補助金を交付しました。  ※国の補助金を活用するため、平成26年度補正予算に計上し、平成27年度に繰り越して実施しました。	アンケートの回収結果から、商品券をきっかけとした消費や商品券に合わせた現金での追加消費があり、商品券による消費誘発効果が十分発揮され、地域経済の活性化につながりました。  【実績】 ・発行金額: 325,000千円(325,000枚) ・最終発行金額: 324,441千円(324,441枚) ・換金利用実績: 323,731千円(323,731枚) ・利用率: 99.78%
市民安全課	8款1項4目	【実】地域防災計画推進事業 《繰越明許費》	0	7,400	5,626	5,626	0	0	0	災害時の若い世代や子どもに配慮して、幼児用のコンパクトベッド(80台)やエアマット(3,000枚)、プライバシー保護を考慮したパーソナルテント(20張)を購入し、市民への周知及び防災訓練への参加者299人に防災資機材の使用方法的説明及び啓発を実施しました。 ※国の補助金を活用するため、平成26年度補正予算に計上し、平成27年度に繰り越して実施しました。	若い世代や子どもを中心に、災害時の避難方法や防災グッズの使用方法的学習を進め、地域の防災力の向上を図るとともに、子育て世代の暮らしの安定を確保し、若い世代の定住を促進することができました。